

RESEARCH WORKFLOW



2020年

英語教育 必修化

グローバル化の進展と共に、教育現場で実践的な英語修得・異文化理解教育の需要が高まっている。2020年には、小学校で英語必修化→教育現場で不安が高まる。中等教育・高等教育でも同様の状況



教育方法 教材・教具 の必要性

総合大学だからできる徳島大学の学際的な研究によって、科学に裏付けられ、実効性が高く、全ての指導者が扱いやすく、効果的な教育プログラム・教具を開発し社会実装を目指す。



教育プログラム および教具の 開発・商品化

応用言語学、TESOL、英語教育学・教育方法学の研究成果による英語修得の工夫を認知心理学的に検証、デザインを専門とする研究者と共に親しみやすく理解しやすい教具を開発し、社会実装を目指す。



公教育への 地域貢献と研究 アウトリーチ

異文化理解の視点から、日本文化を含めた多元文化の視点にたった英語教育プログラム・教具にすることで、海外の英語教育においても活用できる教育プログラム・教具として商品化する。

TIME SCHEDULE

2018年度

国内の小学校向け
英語教育教材の開発
＋
改善と検証

2019年度

国内の中学校向け
英語教育教材の開発
＋
改善と検証
＋
教材教具の開発

2020年度

国内の高等学校向け
海外向けの
英語教育教材の開発
＋
改善と検証
＋
教材・教具の商品化

